

胃がんの治療を受けた患者さんへ 【検査データの調査研究への使用のお願い】

本邦における胃がんの主因はヘリコバクター・ピロリ（以下、ピロリ菌）感染であると考えられています。近年、ピロリ菌の感染率は低下し、さらに除菌治療の拡大に伴って、ピロリ菌未感染胃粘膜や除菌後の胃粘膜に生じる胃癌が増えています。従って、今後はピロリ菌未感染ないし除菌後（既感染）胃粘膜から生じた胃癌の特性を理解して、診断や治療に応用していくことが重要と考えられるため、日本消化器内視鏡学会附置・関連研究会を研究母体として、がん研有明病院消化器内科を中心として、ピロリ菌未感染胃癌、除菌後胃癌で粘膜下層以深に浸潤する胃癌を集積して、これらの特徴を明らかにすることを目的とした研究『ヘリコバクター・ピロリ未感染症例ないし除菌後症例に発生した粘膜下層以深浸潤胃癌に関する多施設共同観察研究』が企画され、当院にも協力の依頼がありました。この研究に参加するにあたって、過去に胃癌の治療を受けた患者さんのカルテ等のデータを使用させていただきます。

以下の内容を御確認ください。

- 今回の調査研究は、2001年1月1日～2027年5月15日までに当院で胃がんの治療（内視鏡治療および外科的治療）を行い、ピロリ菌が未感染もしくは既感染で、がんが粘膜下層よりも深く浸潤していた患者様のカルテ、検査値、レントゲン画像、内視鏡画像、手術所見、病理検査結果等が対象です。
- 通常診療のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担並びにリスクはありません。また、患者さんへの直接的な利益もありませんが、研究の成果は今後の胃がん診療の進歩に寄与する可能性があります。なお、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は本研究会に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、がん研有明病院を中心として多施設で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。

この調査研究はがん研有明病院の研究倫理審査委員会で承認を得た後に、博愛病院倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

博愛病院 研究責任者 浜本哲郎 TEL : 0859-29-1100 FAX : 0859-29-6322

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願い致します。